

熊野署治安情勢

令和2年度冬号
熊野警察署
0597-88-0110



犯罪の認知状況

熊野警察署管内の令和2年中の刑法犯認知件数は41件（前年比－9件）で、平成15年の266件をピークに、年々減少しています。



しかしながら、空き巣や忍込み等の侵入窃盗は昨年より増加しています。

外出する時はもちろん、自宅にいる時も玄関、勝手口などの出入口や人がいない部屋の窓は確実に施錠し、防犯対策に努めてください。

	R2	R1	前年対比
総発生件数	41	50	－9
凶悪犯	0	0	0
窃盗犯	22	27	－5
粗暴犯	7	6	1
知能犯	3	3	0
その他	9	14	－5

特殊詐欺の発生状況

三重県下における令和2年中の特殊詐欺の被害状況については、122件（前年比＋30件）で、被害総額は約4億2,820万円（前年比＋約2億8,590万円）で大幅に増加しました。

手口としては、キャッシュカード手交型（直接自宅等に訪問しキャッシュカードを騙し取る）等の詐欺が増加しており、全体の約6割以上を占めています。

熊野警察署管内では平成30年11月以降、特殊詐欺による被害は発生していませんが、“不審なメールやハガキ等が届いた”、“警察官を騙った不審な電話があった”等の相談を受理しています。



少しでも不審だと感じた時は一人で判断せず、家族や警察に相談してください。

少年補導状況

令和2年中、熊野警察署管内の非行少年等の総数は12人で、前年より9人減少しています。

内訳としては、暴行で検挙された刑法犯少年が1人、深夜はいかい、喫煙で補導された不良行為少年が11人でした。

少年の健全育成を図るためには地域の方の御協力が必要不可欠です。深夜はいかいや喫煙等、不審な行動をしている少年を見かけた場合は、熊野警察署へ御連絡をお願いします。

	R2	R1	前年対比
総員数	12	21	－9
刑法犯少年	1	2	－1
特別法犯少年	0	0	0
不良行為少年	11	19	－8

交通事故の発生状況

令和2年中、熊野警察署管内における交通事故発生件数は295件で昨年よりも減少しましたが、木本町地内の国道42号と五郷町地内の国道169号において交通死亡事故が発生する等、人身事故件数及び死者数は増加しています。

	R2 (暫定値)	R1	前年対比
総発生件数	295	428	－133
物件事故件数	273	411	－138
人身事故件数	22	17	＋5
死者数	3	2	＋1
負傷者数	25	27	－2

交通事故をなくすためには、市民の皆さん一人ひとりが交通事故防止について考え、行動することが重要となります。

運転者だけでなく、歩行者も交通ルールを守って、交通事故のない1年になるよう御協力をお願いします。



相談窓口



～ご存じですか？警察相談＃9110～
緊急の要件でない相談や問い合わせは、
【＃9110】または【059－224－9110】
の専用電話におかけください。

